

酒文化でにぎわい創出 1万人の人出

渡辺酒造店が「蔵まつり」

古川町壱之町の渡辺酒造店(渡邊久憲社長が十七、十八両日、毎年恒例の「蓬莱蔵まつり」を開いた。普段は関係者しか入れない酒蔵を公開することで、市民や観光客に日本酒をより身近に感じてもらうため、飛騨の発酵食文化を発信しようと二〇〇七年から始めたもの



振る舞い酒に舌鼓をうつ来場者ら

で、今年で十一回目。当日は袋吊り酒など同社の日本酒の試飲、利き酒、酒粕詰め放題など酒蔵らしい各種イベントを開催した。また、美容と健康をテーマに酒粕をふんだんに使って開発した新製品「蓬莱酒蔵の発酵食弁当・菌(きん)トレ弁当」や、マシユマロを酒粕に漬け込んで熟成させた「純米大吟醸・和シユマロ」なども販売。吉本興業の若手芸人によるお笑

いショーなどもあり、市内外から一万人が訪れてにぎわった。東京都から名古屋市へ単身赴任している坂本正夫さん(48)は「知人に誘われて初めて来ました。飲みやすいお酒で、意外とフルーティーな味わいでしたと話し、日本酒を飲み比べたい。」



る「2017ミス日本酒」の田中梨乃さん(26)と都竹淳也飛騨市長(渡邊社長とのトークショー)も開催した。写真、田中さんは「飛騨を訪れたのは初めて。風景がきれいで素敵な町だと思いました」と話し、日本酒は美容に良いなどとアピール。都竹市

長は「古川町は酒が無くても成り立たない。酒文化の根付いた町だと話した。」